

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成25年度第12回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成26年3月20日(木) 18時30分から19時55分まで			
開催場所	墨田区役所2階 21会議室			
出席者数	【委員15人】 阿久沢委員 池田委員 宇田川委員 笠貫委員 久保田委員 小木曾会長 佐野委員 島崎委員 清水副会長 永岡副会長 野島委員 本間委員 松本委員 森下委員 柳委員 【事務局3人】 環境保全課長、環境管理担当主査及び職員			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議 題	1 すみだ環境フェア2014の参加について 2 すみだ環境共創プラン<改定版>基本目標3・5(2回目)について 3 平成26年度年間計画(案)について			
会議概要	1 すみだ環境フェア2014の参加について 事務局から、すみだ環境フェア2014事業案内(案)について説明があった。そして、すみだ環境共創区民会議として、すみだ環境フェア2014の参加について検討を行った。 【主な意見等】 ●すみだ環境フェア2014に区民会議として参加した方が良い。新たに環境フェアに参加するにあたっては、ゼロから内容を検討するのではなく、すみだまつりに参加した内容に何かを加えれば良い。 ●すみだ環境フェア2014のテーマは、「再発見！きて・みて・ふれて江戸(エコ)の知恵」。テーマに沿った内容を検討した方が良い。 ●本日、すみだ環境フェア2014に区民会議として参加する、参加しないを決めたい。昨年10月にすみだまつりに参加して、アンケート等も行った。できたら継続して参加した方が良い。 ○本日は、すみだ環境フェア2014に区民会議として参加する、参加しないという決定をしていただきたい。参加する内容については、すみだまつりと同様、分科会を立ち上げて内容を検討いただきたい。 ●参加するからには、分科会で内容を検討する前に、参加する意味や理念を委員全体で共有する必要がある。感動を伴った気づきを与えられるようなイベントを行うなら、意味があると思う。 ●委員によっては、別の団体で環境フェア2014に参加する。そこははじめをつける必要がある。区民会議として、独自に参加するかを検討する必要がある。			

●今回も「緑と花の学習園」として参加を予定している。従事の時間については、時間帯を区切って、参加したい。

●今回、すみだ環境フェア 2014 にすみだ環境共創区民会議として参加する。別の団体でも参加する委員の方がいるので、連携を図っていききたい。

○実行委員会のスケジュールは、昨年度より1週間ほど、早まっている。今月末か4月の下旬までに、大まかな内容の決定をお願いしたい。

●すみだ環境共創区民会議としては、「すみだ環境の共創プラン」の5つの基本目標の周知が、大きなテーマだと思う。

●環境フェア当日(6月28日(土)・29日(日))に従事可能な委員の方を募ってはどうか。仮に区民会議として出展しなくても、フェアの運営スタッフとして参加することでも良いと思う。

●区民会議の認知度は低いと思うので、活動内容を紹介してはどうか。環境は大事なんだと、思ってもらえるイベントを実施し、環境に関心を持ってもらいたい。たとえば、観光課で行ったようなごみの持ち帰り運動とか、きっかけとなるようなキャンペーンでも良い。

●環境フェアの実行委員会では、体験型の出展を求めている。

●環境フェアの実行委員会のスケジュールもあるので、今月の内に分科会を開催したい。そこで、今回の意見を基に、内容の検討をしていきたい。開催日程等については、別途、連絡する。

●分科会に参加できない委員の方も意見を出して貰いたい。その意見も合わせて分科会で内容の検討を行う。

2 すみだ環境共創プラン<改定版>基本目標3・5について

会長より、すみだ環境共創プラン<改定版>基本目標3・5について、2回目の意見交換を行う旨の説明があった。

【主な意見等】

●異業種交流グループ連絡会議では同じような志を持つ仲間と協働して活動をしている。そこで、環境共創区民会議として、「荒川をよくする墨田区民会議」と学校を交えて協働して、何か企画をすれば、行動を起こすことができる。環境共創区民会議で、公園の一つや二つを造る提案をしたら良いと思う。

●△△委員から「学校支援ネットワーク事業」について情報提供をいただいている。

●墨田区の学校支援ネットワーク事業に関わって5年目になる。フォーラム等も開催され、この事業に携わる色々な人と関わることもできた。学校支援ネットワーク事業の平成24年度実績の冊子をいただいたので、是非、参考にしてもらいたい。人材教育に関しては、文部科学省や経済産業省等、国からも注目されている。来年度の区民会議の事業に、何か取り入れられるものがあるか、考えていきたい。その他、コケ植物を使った屋上緑化、森林と市民を結ぶフォーラム、江東区で行っている小型水力発電について、参考に資料を提供する。

●この制度を区民会議の活動にどのように活かそうと考えているのか。

●前回の定例会でも、学校教育の重要性について意見があった。その学校教育の具体

的な取り組みの一つとして、この事業を紹介した。学校の先生は、キャリア教育やマナー等に関心があるので、先生の意識を環境教育に向けていけたらと思う。

●東京ガスでは、環境教育や食育の分野で、この事業に携わっている。子供たちだけに授業を行っても浸透しない。PTAや先生への働きかけが必要と実感している。

●環境教育は、子供の頃からやっていけば、そのことは、必ず頭の隅に残っている。

3 平成 26 年度年間計画(案)について

会長より、平成 26 年度年間計画案について検討する旨の説明があった。

【主な意見等】

●計画(案)の内容欄に「提言」とあるが、何か。

○平成25年度は基本目標1～5について検討を行った。平成26年度は、何かターゲットを絞り、区民会議として区民へ発信するため、とりまとめ作業を行ってはどうか。「提言」という言葉を使っているが、区民への「提案」と同様の意味。

●活動報告書にはいつも提言を行っている。

●より具体的な内容の提案ということか。

●区民会議として提案するのか。

○その提言を何にするかということで、これまで基本目標1～5について、意見を出し合ってきた。一つか二つ、ターゲットを絞り、提言を取りまとめていく。そのためには、理論付け、枠組み等、しっかり組み立てていかなければいけない。

●子供への環境教育が大事だと思う。そこで、環境フェアのステージで学校支援ネットワーク事業を企画してはどうか。

●現状を押さえたうえで、検討する必要がある。確かに、学校支援ネットワーク事業はそれほど認知されてはいないと思う。区民の気持ちを動かす感動を伴う活動を企画することが、区民会議の役割だと思う。

●区民会議の最終目標は、区民への提言を行うことなのか。すると、目標の方向性等を考えると、NPOと検討する等、もっと違った方法があると思う。

●区民会議は、区民と区の双方に発信する役割がある。

●平成 26 年度年間計画案について、その他、意見等はないか。この案で宜しいか。

●年間計画案については、これで良いのではないか。今後、追加する項目があれば、提案してほしい。

所 管 課

区民活動推進部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5463